

## 実態調査の方法

### 1 調査対象者

調査対象者は、平成 13 年 10 月 1 日現在で、清酒の製造免許を有する清酒製造業者( 共同びん詰法人を含み試験製造及び期限付免許者を除く。)

### 2 調査対象期間

調査対象期間は、調査表で特に指定した場合を除き、法人については、平成 13 年 10 月 1 日直前終了事業年度分( 1 事業年度が 6 か月の場合は 2 事業年度分) とし、個人については平成 12 年分とした。

### 3 集計方法

#### (1) 企業タイプ区分

企業タイプ	該 当 基 準	
卸 売 タ イ プ	専 業 割 合 50 % 以 上	販売数量の 80%以上を卸売業者に販売している企業
小 売 タ イ プ		販売数量の 80%以上を小売業者及び消費者に販売している企業
卸・小売タイプ		卸売業者と小売業者及び消費者に対する販売数量の合計が、販売数量の 80%以上となる企業で卸売タイプ、小売タイプに該当しない企業
おけ売りタイプ		販売数量の 80%以上がおけ売りである企業
おけ売りタイプ		販売数量の 50%以上がおけ売りである企業でおけ売りタイプ に該当しない企業
混 合 タ イ プ		前記のいずれのタイプにも該当しない企業
そ の 他 企 業		専業割合 50%未満の企業
集約製造参加者	製造する清酒の全数量を集約製造に参加して製造した者	
共同びん詰法人	清酒の「共同びん詰場」の設置を許可された法人	

(注) 専業割合 50%以上の者及びその他企業は、いずれも清酒を実際に製造した者をいう。

#### (2) 集計区分

- イ 製成数量規模別( 8 階層)
- ロ 課税移出数量規模別( 9 階層)
- ハ 資本金階層別( 法人のみ: 6 階層)
- ニ 販売数量規模別( 9 階層)
- ホ 都道府県別
- ヘ 企業タイプ別

#### 4 分析計数の算出方法

順号	計 数	算 出 方 法
1	専 業 割 合	$\frac{\text{清酒製造業売上高(241)}}{\text{売上高(243)}}$
2	稼 働 率	$\frac{\text{製成数量 [ 20度 ] (158)}}{\text{製造能力 [ 20度 ] (162)}}$
3	売 上 高 総 利 益 率	$\frac{\text{売上総利益(252)}}{\text{売上高(243)}}$
4	売 上 高 営 業 利 益 率	$\frac{\text{営業利益(255)}}{\text{売上高(243)}}$
5	売 上 高 税 引 前 純 利 益 率	$\frac{\text{税引前純利益(266)}}{\text{売上高(243)}}$
6	売 上 高 販 管 費 率	$\frac{\text{販売費・一般管理費(253)}}{\text{売上高(243)}}$
7	売 上 高 人 件 費 率	$\frac{\text{人件費(285)}}{\text{売上高(243)}}$ <p>人件費とは利益処分以外の役員報酬、給料賃金、労務費、従業員賞与、退職手当、福利厚生費をいう。</p>
8	売 上 高 金 融 費 用 比 率	$\frac{\text{支払利息・割引料(289)}}{\text{売上高(243)}}$
9	売 上 高 金 融 費 用 比 率 ( 実 金 利 )	$\frac{\text{支払利息・割引料(289) - 受取利息割引料(256)}}{\text{売上高(243)}}$
10	売 上 高 付 加 価 値 率	$\frac{\text{付加価値額(291)}}{\text{売上高(243)}}$ <p>付加価値額 = 人件費 + 減価償却費 + 賃借料 + 租税公課 + 支払利息・割引料 + 税引前純利益</p> <p>( 租税公課は次のものを除く。  ? 利益金に課せられる法人税、所得税、地方税  ? 印紙税を除く間接税  ? 加算税、過怠税及び罰科金等 )</p>
11	生産性 ( 従業員 1 人 当 たり ) 売 上 高	$\frac{\text{売上高(243)}}{\text{年平均従業者 [ 従業員(198) + 役員等(200) ]}}$
12	生産性 ( 従業員 1 人 当 たり ) 税 引 前 当 期 純 利 益	$\frac{\text{税引前純利益(266)}}{\text{年平均従業者 [ 従業員(198) + 役員等(200) ]}}$
13	生産性 ( 従業員 1 人 当 たり ) 付 加 価 値 額	$\frac{\text{付加価値額(291)}}{\text{年平均従業者 [ 従業員(198) + 役員等(200) ]}}$
14	生産性 ( 従業員 1 人 当 たり ) 人 件 費	$\frac{\text{人件費(285)}}{\text{年平均従業者 [ 従業員(198) + 役員等(200) ]}}$

順号	計 数	算 出 方 法
15	生産性（従業員1人当たり） 総資本装備率	$\frac{\text{総資本(217)}}{\text{年平均従業者 [ 従業員(198) + 役員等(200) ]}}$
16	生産性（従業員1人当たり） 労働装備率	$\frac{\text{有形固定資産(213) - 建設仮勘定(211)}}{\text{年平均従業者 [ 従業員(198) + 役員等(200) ]}}$
17	総資本営業利益率	$\frac{\text{営業利益(255)}}{\text{総資本(217)}}$
18	総資本税引前純利益率	$\frac{\text{税引前純利益(266)}}{\text{総資本(217)}}$
19	総資本借入金比率	$\frac{\text{短期借入金(220) + 長期借入金(225)}}{\text{総資本(217)}}$
10	総資本自己資本比率	$\frac{\text{自己資本(233)}}{\text{総資本(217)}}$
21	自己資本税引前純利益率	$\frac{\text{税引前純利益(266)}}{\text{自己資本(233)}}$
22	自己資本借入金比率	$\frac{\text{短期借入金(220) + 長期借入金(255)}}{\text{自己資本(233)}}$
23	流動比率	$\frac{\text{流動資産(206)}}{\text{流動負債(224)}}$
24	当座比率	$\frac{\text{現金・預金(201) + 受取手形・売掛金(202)}}{\text{流動負債(224)}}$
25	固定比率	$\frac{\text{固定資産(213+214+215)}}{\text{自己資本(233)}}$
26	総資本回転率	$\frac{\text{売上高(243)}}{\text{総資本(217)}}$
27	固定資産回転率	$\frac{\text{売上高(243)}}{\text{固定資産(213+214+215)}}$
28	受取債権回転率	$\frac{\text{売上高(243)}}{\text{受取手形・売掛金(202)}}$
29	商品回転率	$\frac{\text{売上高(243) - 酒税額(245)}}{\text{期末商品在庫高(203)}}$
30	清酒回転率	$\frac{\text{清酒製造業売上高(241) - 酒税額(245)}}{\text{期末清酒在庫高(204)}}$
31	清酒製造業売上高 総利益率（課税）	$\frac{\text{清酒製造業売上総利益 [ 課税 ] ( 238-246 )}}{\text{清酒製造業売上高 [ 課税 ] ( 238 )}}$
32	清酒製造業売上高 総利益率（未納税）	$\frac{\text{清酒製造業売上総利益 [ 未納税 ] ( 239-247 )}}{\text{清酒製造業売上高 [ 未納税 ] ( 239 )}}$

順号	計 数	算 出 方 法
33	清酒製造業売上高 総利益率(平均)	清酒製造業売上総利益(241-249) 清酒製造業売上高(241)
34	清酒製造業売上高 販管費率	清酒製造業販売費・一般管理費(254) 清酒製造業売上高(241)
35	清酒製造業売上高 営業利益率	清酒製造業営業利益(241-249-254) 清酒製造業売上高(241)
36	清酒製造業売上高 人件費率	清酒製造業人件費 (308+309+323+324+330+332+334+336) 清酒製造業売上高(241)
37	清酒製造業売上高 金融費用比率	清酒製造業支払利息・割引料(354) 清酒製造業売上高(241)
38	清酒製造業売上高 金融費用比率(実金利)	清酒製造業支払利息・割引料 - 清酒製造業受取利息割引料 354 - (256 × (354 ÷ 289)) 清酒製造業売上高(241)
39	生産性(清酒製造業従業員 1人当たり)売上高	清酒製造業売上高(241) 清酒製造業年平均従業員(191)
40	生産性(清酒製造業従業員 1人当たり)営業利益	清酒製造業営業利益(241-249-254) 清酒製造業年平均従業員(191)
41	生産性(清酒製造業従業員 1人当たり)人件費	清酒製造業人件費 (308+309+323+324+330+332+334+336) 清酒製造業年平均従業員(191)
42	生産性(清酒製造業従業員 1人当たり)総移出数量(20度)	課税移出数量[20度](128) + 未納税移出数量[20度](114) 清酒製造業年平均従業員(191)
43	生産性(清酒製造部門従業員 1人当たり)製成数量(20度)	製成数量[20度](129) 製造部門年平均従業員(186)
44	生産性(詰口部門従業員 1人当たり)詰口数量(20度)	詰口数量[実数](124) 詰口部門年平均従業員(187)

(注) ( )内の数字は、清酒製造業実態調査表のコード番号である。